

# 令和5年度第2回 いいづな歴史ふれあい館協議会

## 会議メモ

日時：令和5年(2023) 11月30日(木)

9:00～11:00

場所：いいづな歴史ふれあい館 小ホール

### 1 開 会 (館長)

### 2 あいさつ

馬島教育長 朝、高岡のほうには雪が積もっていた。皆様お忙しい中ありがとうございます。特別展も無事に終了し、関係者の皆様本当にありがとうございました。今日はよろしく願います。

中村協議会長 生活に根差した食文化というテーマでの特別展では、今回歴史ふれあい館の存在を初めて知ったという人もたくさんおられた。個人個人の体験にも触れられるような親しみのもてる展示でした。限られた時間の中でよい会議ができますよう、よろしく願います。

### 3 議 事 (進行 中村会長)

#### (1) 特別展「飯綱町と食べごと文化」の開催報告(速報)・・・資料2

中村 令和6年度、7年度の予定に関する議題もありますので、今後の予定について様々な意見をいただきますようお願いいたします。はじめに資料2の特別展開催報告について、願います。

富樫館長 一昨日、特別展の撤収作業が終わったところです。速報ということで開催報告をさせていただきます。

(資料をもとに概要を説明) 観覧者と行事参加者は合せて1000人を超え、町人口の約1割にあたる。新聞報道にも紹介。多くの方に喜んでいただけたようだ。これまで当館に来る機会がなかったという人も複数おられた。今回の特別展については、特に“だんどの会”の皆さんのご協力に助けられたところが大きかった。会のメンバーでもおられる宮本委員から、ぜひ感想を。

委員 成功裡に終わったと思う。私たちの活動がはじまったのは30年くらい前からのことですが、毎日の経済活動を支える食べごと文化というものがあって今があることを多くの方々に感じてもらえたとし、活動当初からの私たちの志というも、分かってもらえたように思われてありがたく感じた。

中村会長 他の方々も、もし感想があればぜひ願います。

委員 今年から地区の公民館館長をしていて、今回公民館学習会として19名でこちらの見学をさせてもらった。学習会の後、参加したおばあちゃんたちのお茶のみの中では「すごくよかった」とのことで、もっと大勢で参加できればよかったという話があった。よく出来た食品サンプルの写真をとってSNSに載せたら、その反応もとてもよかった。インパクトのある企画だったと思う。

委員 私は会期中3回くらい見学させてもらった。先日はニューヨーク在住の方にも見ていただいた。万宝院味噌を味わう体験会には、サウジアラビア出身の青年も参加した。海外から来た人にとっても

非常に興味深い展示だったようだ。こういった企画をこれからもぜひ続けてほしい。

**委員** 私も拝見し、小さい頃の思い出がよみがえった。苦勞してつくられたジオラマも迫力があつた。

**委員** サンプルがよく出来ていた。できれば、その場で一品でも味わえるともっとよかつたが。

**馬島教育長** 私も観させてもらった。うちの母なんかも、見覚えのあるような茶筆筒も展示してあつて懐かしがつてました。懐かしいだけでなく、今もこれ食べているというものがけっこうあつて、食べごと文化は昔から今にずっと息づいているという実感をもつことができ、それもまたうれしい特別展でした。

**中村会長** 今までいろんな企画展をやってきたが、今回の企画は地域での会話や家族のあり方、そういうことまで掘り起こしたテーマになったのではないかと思う。年配者から幼児までのつながりを考えるよいきっかけにもなった。さきほどの話にあつた、地域のみなさんが一緒にここに足を運ぶということはこれまであまりなかったように思う。館の今後を考えるにしても、地域の人たちと館との結びつきを大事にしていきたいと感じた。では、この件はよろしいでしょうか。次の議題に移ります。

## (2) 全町地形模型製作について・・・資料3

**中村会長** 説明をお願いします。

**富樫館長** 当館の展示改修計画の中でも、真っ先にやらなければならないこととして計画したものです。

このほど契約手続きが済んで、年度内に作製できる見込みが立った。これまでも検討してきましたが、模型作製範囲は、ほぼ去年の水の展示の際に設定した範囲としました。また、縦・横の縮尺については、横 1/1 万、縦方向は横の縮尺の 1.5 倍をとって高さを適度に強調します。費用は、昨年にくらべて全体的にかなり値上がりしています。そのこともあつて、タッチパネル方式の解説展示を組み込むことは断念し、代わりに手動のハンドルを回すと模型の山の地下の断面が見えるように考えました。既存の模型に比較して範囲が広がった分、若干縮尺は小さくなります。表面仕上げは既存の模型と同等のリアルな表現を目指す。主要な山、川、遺跡や交通路、施設、ランドマークと町の境界等を示します。今回はボタンを押すと旧街道のランプが点くような仕掛けは組み入れられません。また、情報が多すぎると逆にわかりにくくなるので、どの程度の表現に収めるか、これから打ち合わせを重ねていきます。令和 5 年度内に完成させるので、かなりタイトなスケジュールになっています。

**中村会長** 予算のこともある中で、年度内に完成させる予定だということでした。いかがでしょうか。

**委員** 今年の特別展のジオラマでは、よく見ると虫がいたりとかがあつて面白かつた。よく見ると何かがいるというようなことがあると、子どもたちが興味をもつのではないか。

**富樫館長** 模型の中にも遊び心のようなものがあるといい。

**委員** 野尻湖まで範囲に入れていただきありがたい。これで進めてもらうとよいと思うが、体験型、参加型の展示では、将来的に小さなビデオカメラを置いて、こっちから見たらこういう景色になるとか、自分の住んでいるところからみるとこう見えるというような体験ができるといいのではと思う。どうしてリングが

おいしいのかとか、いろいろ面白いことが地形模型から説明できそうだ。多層的に町の魅力を知ってもらうための土台になる。

**中村会長** 模型そのものに、江戸時代の集落の中心だとか、映像を含めてみては。

**委員** 映像を入れるとかなりお金がかかることになる。

**委員** この地形の中で、どのように三水地区に用水が引かれたのか、そういう点もわかるようにぜひお願いしたい。

**委員** 三水の用水のところから見ると景色がいいので、そこに行ってみたくなるようなものになるとよい。

実際に行ってみると、そこに説明看板があるというようなこともあるとよい。小玉古道なんかもいい。公民館報でも「ここはどこだ？」という記事を載せているが、それを見にゆけるようなことがあるといいと思う。

**中村会長** 模型が出来たら終わりではなく、その後どう活用していくか、20周年以降も追加していけそうなアイデアをいただきました。この件については、よろしいでしょうか。では次に移ります。

### (3) 令和5年度の今後の事業等について・・・資料4

**富樫館長** (資料に沿って説明) 展示改修のための基本設計についても年度内に行う予定です。

**広田補佐** 文字で作成された基本計画はすでにありますが、それを実際の配置等を考慮した平面図等に図化していきます。12月初旬に入札選定委員会を行い、年末に入札、1月から3月の間で基本設計を作成するという予定。その成果に基づき、その後の実施設計と改修になっていきます。

**富樫館長** 今年度のその他の予定では、2月と3月に小山さんと私による2回の歴史講座開催、そして紀要の編集と発行予定があります。紀要には小柳氏、竹下氏、黒柳氏の論考のほか、今年度の「食べごと文化」展が何を目指したのか、についても文章化し記録しておきたい。町を流れる一級河川の論考の後編も予定する。歴史ふれあい館だより19号では、ホットな話題として地形模型の紹介、また館の展示改修予定についても触れておきたい。今、歴史ふれあい館が新しくなろうとしているということを町民に知っていただけるようにしたい。

**中村会長** 基本計画に基づき、基本設計の方にも入っていますが、何かご意見があれば。

**委員** 歴史講座は参加したいのですが、日程が合わないことがある。録画しておいてユーチューブ等にアップすることはできないか。

**富樫館長** これまではやっていないと思う。町のイベントでは動画配信はやっていました？

**馬島教育長** 聞いたことはない。講演会のようなのはできるかも。

**委員** ネット上にアップするには、町がそれを容認するかどうかということもある。

- 委員 誰でも観られるとなると、プライバシーの問題とかが出てくるかもしれないが、そこがクリアできればいいと思う。技術的には簡単にやれる。一定期間の公開にすることも可能。
- 富樫館長 手続きも含めて検討してみたい。
- 小山学芸員 ネット上に公開するとなると、話す内容をシビアに考えないといけなくなるのと、著作権が発生する可能性があるとか、そういう点にも配慮が必要。
- 富樫館長 講演する側の立場からすると、どういう人が見るかわからないとなると、気になる側面もある。講師が慎重を期して無難な表現や説明を選んでしまうとか、そういう影響はあり得るので、良い面と悪い面の両方を考えて判断したい。
- 委員 ネット上への配信ではなく、館に来るとその記録が観られるというのでもいいかも。
- 富樫館長 どう利用するかは別として、映像に記録しておくことは良いかも。
- 中村会長 これからの博物館に新しい情報機器や展示方法をどのように取り入れてゆくかということにも関係してくる。長いスパンで考えると、意外に大きな転換になっていくかもしれない。他にはよろしいですか。では令和6年度以降、令和7年度に向けての予定についてお願いします。

#### (4) 令和6年以降の予定について・・・資料5

- 富樫館長 資料の説明の前に、私事ですが、私自身は令和6年3月をもって館長職を退任する予定です。館の基本構想や基本計画については、私個人がつくったものではありませんので、今後も続いてゆくものです。ただ、現時点で構想や計画の全体像に若干の修正が必要になっています。令和5年度の末に基本設計が終わるとすると、展示改修への着手は令和6年度に入ってからとなり、詳細(実施)設計をして改修するといはこびになります。そのため、実際の改修は令和6年度後半になります。となると、令和6年度中に改修と並行して特別展を行うのは無理だと考えています。計画の全体像には、令和6年度中にステップ④として特別展「この地の災害」展を予定していましたが、これは令和7年以降の企画に先送りになります。一方ステップ①～③の特別展はすでに開催できているので、これらの展示内容は今後の常設展示の改修に活かされます。令和7年度の町制20周年記念特別展の具体的な準備は令和6年度から始めることになり、それが前提となります。資料には、前回の協議会で令和7年度の特別展のテーマに関わる意見をまとめてあります。また、館として企画できそうなテーマの試案もあげてみました。今日ご欠席の松木委員からは、「わが地区の自慢大集合」といった案もありました。また、この歴史ふれあい館が、これまでどのような歩みをしてきたかをテーマにする展示という案もあります。
- 中村会長 前回の話をよくまとめていただきました。これをもとに20周年特別展や、今後の展示改修に生かせるようなものがあればと思います。さらに自由にご意見をいただきたい。
- 委員 西黒川の集落創生事業で何かできないか検討しているが、大宮神社にエドヒガンの古木があり、

そのあたりにかつて桜林があったという伝承もある。その桜林の復活をプロジェクトにできないか検討中。その復活の過程で、今と昔の地形の違いとか、農地の構造改善事業がなされる前の様子とか、その変化がわかると面白そうだと思います。

**中村会長** 景観と併せて、地域の歴史的な変遷がわかるようなテーマをというご意見です。

**委員** 今の国道 18 号線が出来る前と後とでは、すごい変化がありました。そういうことには、個人的にも興味があります。前に小玉地区の昔の写真を見せていただきましたが、とても面白かった。

**委員** 私も初めてこっちに来たとき、まだ坂中のトンネルの地図がなかったのですが、ひょいと来れたので、道が出来ることによってずいぶん便利になったんだと思いました。時代による道路と町の変化のようなことが、どのくらいまでさかのぼることができるのか興味があります。先日、中山道の和田宿に行きましたが、あそこにくらべると、牟礼宿には昔の家並みがあまり残っていない。それはどうしてなのか。もっと町歩きをしたくなるようなことが何かできないかと思う。

**中村会長** 町の文化財保護審議会でもたびたび話題になるが、古民家の保存をどうするかという問題がある。

**委員** 先日四国の祖谷というところに視察に行く機会があったが、住んでいる人からすると町並み保存は意外に大変みたいです。白山の麓でもそうでした。新しく快適な家に住みたいという人からすると、見た目を保存すればいいのか、生活スタイルも含めた保存を目指すのか、難しいところがある。ただ、古民家を新しく作るのは難しいので、できるだけ今あるものを保存していきたいが、それには人手と予算も必要。以前、千葉工大と金沢工大が来た時に古民家を調べた記録は町にあるので、そういったところとタイアップできるといいかなと思う。

**委員** いろいろな展示や企画がある中で、足りないものという喫茶や食べ物がある。食の展示では2ヵ月に1度でもいいので、日を決めてそれを味わえる機会を設けるとか、展示と食事がセットになるようなことがあるとひとつの拠り所になる。凍み大根とか、笹餅、小豆からつくった赤飯とか。食べもの目当ての人がここに来たり、歴史好きな人が食べ物に興味をもったりという相乗効果が生まれるのでは。

**委員** そういうことになら対応できます。私らも、特別展をやってその後はどうしようかというときに、その時季の食品サンプルを展示し、それを食べてもらうことができればいいなと思っています。

**委員** 西黒川の公民館で見学に来たときは、午前中にここで見て、その後にリンゴパークに移動して“だんごりの会”の皆さんに箱膳を用意していただいた。箱膳がものすごく評判がよくて、肉や魚ではなく、地域の野菜を中心とした食材でお腹いっぱいになり、皆さん満足してお帰りになった。ただ、予約だとそういうこともできると思いますが、予約でないと対応が難しいと思う。

**委員** 箱膳体験も、お師匠の池田先生が来ると、参加された皆さんは体験の間はお説教をくらいながらみたいになって「食べた気がしなかった」なんていう男の人もある。一方、涙を流しながら聞いて

くれる女の人がいったりもする。箱膳もいろいろなスタイルで対応ができる。地区のいきいきサロンでも呼んでいただいている。これからは、その場に今回の特別展で作った食品サンプルなんかを持っていけば、よけいに喜んでもらえると思う。アイカフェでも6名以上の予約があれば食事提供に対応することになっている。コロナ禍で一時期提供することができなかったが、この頃ぽつぽつと予約が入るようになってきた。

**馬島教育長** くらかけまめや凍み大根をお茶とともにちょっと味わってもらおうとか、簡単なレシピをつけたようなものとか、体験できるといいかも。

**委員** ジュースの味から、リンゴの品種を当てたりするとか。

**中村会長** 今回の特別展では、若いお母さんが子ども連れで来られたのはよかった。地区の皆さんがこぞってここに見学に来られたのも、文化財展のようなちょっと堅苦しい展示のときにはなかったことでした。食への関心から、何か体験ができることなどに派生していけるといい。たとえば伝統芸能の由来と伝承でも、地域の獅子舞がもはや伝えられなくなっているという問題がある。役者さんに女性を入れたり、子どもさんたちと1年かけて1回/月の稽古をして伝承したりという活動がある。そういう新しい形の獅子舞の伝承を見てもらうのもいい。地区内の獅子舞は見たことがあっても、他地区のは見たことがないという人も多い。

**委員** 地区の祭の日が他地区とかぶっていたりして、なかなか他所の獅子舞を見にゆけない。

**中村会長** 私らの子どもの頃は、親戚関係で呼ばれたりして見る機会があった。信濃町で、各地区の獅子舞が一堂に会して舞うのを見たことがあります。“ひよっこ”なんかが出てきてね。

**馬島教育長** 三水第二小が閉校するときに赤東地区の獅子舞をグラウンドでやった。私も五つの地区の舞を全部見たのは初めてでした。あのときは小学校が閉校するということで地区の熱意があって実施できた。獅子舞は練習が大変で、お祭り以外のときに集まってやれるかという難しい面もあると思う。全地区のをやるとなれば見るのに時間もかかる。獅子頭の展示だけであれば出来るかも。一方で、もしやれたとすれば人は絶対集まる。私も、はじめて“ささら”を見て、衝撃を受けました。(笑い)

**委員** 大集合となると大変だが、毎週どこかの獅子が来て期間中に1度は舞ってもらおうとか、そういうのもいい。全部でいくつぐらいあるんでしょうね？すごい数ありそうですね。

**委員** 合併して10年のときに、倉井地区でやったことがあった。そのときはすでに女の人にも舞に参加していた。もちろん子どももそうだし。昔は、家を継いでいくという意味もあって長男がやったもんだが、今は地区にいる人がみんなでやらなけりゃ伝えていけない。それでもできない地区はある。芋川にはかつて9つの獅子舞があったが、今年は4つくらいしか出ない。若い人のモチベーションが続かない。

**小山学芸員** 袖之山区の集落創生の発表会があって、いまアップルミュージアムに勤めている映像クリエーターの方が、獅子舞の記録と所作を3つのカメラで撮ったものを1画面に入れて編集し、YouTubeにアップしたという発表があった。そんな風に記録に残そうとしている動きと、残念ながら続かなくなったという地区が出てきている。それはコロナの影響もあって、タイムリーな話題なので実現できるといい。他地区の取り組みを参考にできることもありそう。

**富樫館長** じつは私も長く笛を担当しています。一度は引退しましたが、事情があって頼みこまれて、今年は役者に復帰しました。獅子舞の映像を撮るといふのにはいい面と、必ずしもいいばかりではないと感じる面もあると思っています。実際は、どの役柄でもごしゅん(師匠)が替わると、少しずつ舞い方や調子なども変わる。どれが本当なのかは実のところ難しい面があって、映像に記録されるとそれが唯一の答えのようになってしまう可能性がある。本当は、毎年稽古をしていく中で、昔からやってきた人と若い人が、「こうじゃないか」、「いやこうだった」とやりながら、納得できる一番いい形にもっていくというのが本来の祭の伝統芸能であったと思います。そのコミュニティの良さみたいなことを、展示の中で伝えられれば。

**委員** 昔から譜面とかがなくてやっているんだから、変わっていったりまえだろうな。

**中村会長** 獅子舞ひとつをとってもこれだけの話が出てきますから、表にある多くのテーマをあたっていくと、さらにいろいろアイデアが出てくると思う。この令和7年特別展の件については、3月までにうちにもう1回協議会を開催して、その議題に特化してアイデアを出し合う機会を設けてはどうかと思います。いかがでしょうか。(異議なし)

では、後日第3回協議会の日程を決めていただいて、予定したいと思います。

**富樫館長** 年度末にかけてはいろいろご予定もあると思うので、一番都合がよさそうな時期を選び、日程の調整をすることにします。「この地の災害」展もそうですが、ここにあげたテーマは、令和7年度に限定せず、令和7年度にやるか、あるいはそれ以降にさらに準備をした上でやれるだろうか、そういう風に柔軟に考えて検討してみてもどうか。そういう検討をするには良い機会かと思っています。

**中村会長** この館が出来てからの歴史を説明するというのも一つのテーマかと思っています。この館に参加者が積極的に来てもらえるにはどんな工夫をすればよいか、いろいろアイデアを持ち寄っていただきたい。では、館長さん、日程調整等よろしく願います。

**富樫館長** 承知しました。

## (5) その他・・・資料6

**富樫館長** 隣接するゴルフ場のナイター営業の影響の問題について、その経緯と検討状況を説明。これは近年他地域でも問題になっている“光害”の案件になります。事業者にとっては営業活動ですし、事前に歴史ふれあい館には知らされてなかったのですが、照明設備の設置に関しては町の景観

条例の手続きに沿って届け出がされておりました。すでに町はそれを許可していて、そういう状況の中で何ができるのかを検討中です。当館の星空観望会の活動にも大きく影響する問題なので、協議会内で情報共有をしておきたいと思います。

**委員** もともとあったテニスコートやグラウンドの西側の照明については、星空観望会ではそっちに方向に望遠鏡を向けることはあまりないですが、南と東の方向は観察対象となります。ナイター照明によって南側の空がとても明るくなってしまいました。時間も夜 10 時頃までということで、自分の自宅の方でも影響は大きくて、星空の写真をとるにも支障が出ています。

**中村会長** 早朝ゴルフやナイターゴルフをやるようになってから、ゴルフ場の知名度がぐっと上がり、営業としても効果を上げていると聞いている。天体観測にとっては大きな問題だが、天体観測も天候次第では開催できないときもおる。どうすればよいのか難しい。ゴルフ場では日曜の夜はナイター営業をしない方針はあるらしいので、日曜の夜に観望会にするとか、あるいは照明の角度を変えられれば、多少影響を抑えることができるかもしれない。

**小小学芸員** 夏に一度照明設備が不調になったことがあり、業者がメンテナンスに入ったときに、そのついでに照明の角度について少し検討してもらい、1箇所だけ角度を調節した。当館に影響の大きい2箇所の照明はそのままで、全体の影響程度は大きく変わってはいない。星を見る方向から直接光を受けるような形なので、目がくらんでしまうような状況。ふれあい館としての対策も検討しており、ドームの中で、夜空の開口部の下 1mほどに遮光幕を張る対策を年明けの1月までを目途に設置してみる予定。ただ、11月に入ってゴルフ場が今季のナイター営業をやめたので、実際の対策の効果についてはまだ不確定なところがある。

**富樫館長** ゴルフ場側に対応をお願いしつつ、ふれあい館としてもやれる工夫はやっていくというスタンスで対応している。文化財展をやったときのアンケートには「飯綱町の星空を文化財にしたらどうか」という意見があった。きれいな星空の価値については、感じていた人もいれば無関心の人もいたということであり、もっと関心が高ければこうなる前に何かできたかもしれないと思う。

**小小学芸員** 当館の星空観望会については、運営協力員の皆さんの協力があって開催できているので、開館以来、協力員の皆さんのご都合を伺い土曜の夜に開催するようにしてきた。もし協力員の皆さんの間で曜日を变えてもいいということになれば、ナイター営業をやらない日曜日に開催日を変更する対応も考えられる。また、来館者の方々が日曜の夜でも来てくれるかどうかもある。

**中村会長** すでに1年以上ナイター営業をしていて、ここにきて観望会に影響があるからナイター営業を止めてくれとはなかなか言えないだろう。

**富樫館長** 事業者からの届け出の情報が役場内で共有されていなかったことと、コロナ禍で当館の星空観望会を中止していたときにゴルフ場が営業をはじめたということが重なり、事業者への要望という具体的な対応が遅くなってしまった。この件に関する検討は今後も継続していく。



馬島教育長 お互いに工夫しあって、うまく対応ができれば。

中村会長 双方で、検討を継続してもらおうということをお願いします。よろしいでしょうか。

#### 4 事務連絡事項等

富樫館長 次回の第3回目の協議会は、特別展のテーマに絞った形で予定したいと思います。年内に日程調整を行うので、ご協力をお願いします。

#### 5 閉 会 （富樫）

富樫館長 長時間にわたり、審議等ありがとうございました。 （閉会）